

# Meridian

神戸学院大学有瀬図書館  
2021年12月6日発行

展示会通信第60号

菊菊百珍

豆腐百珍

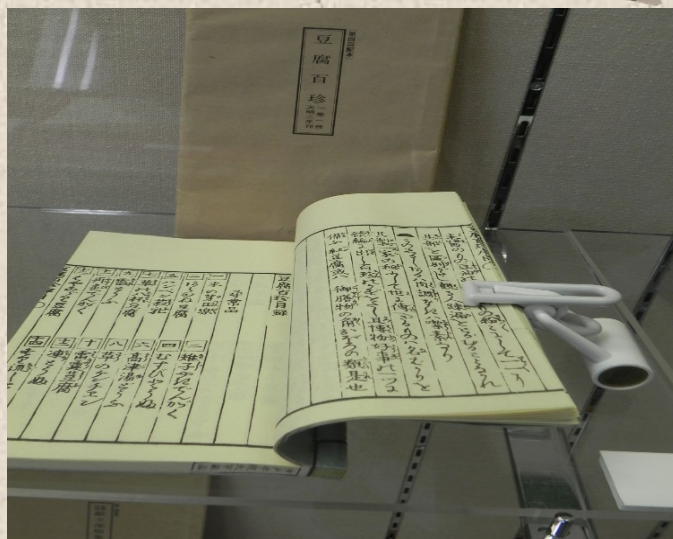
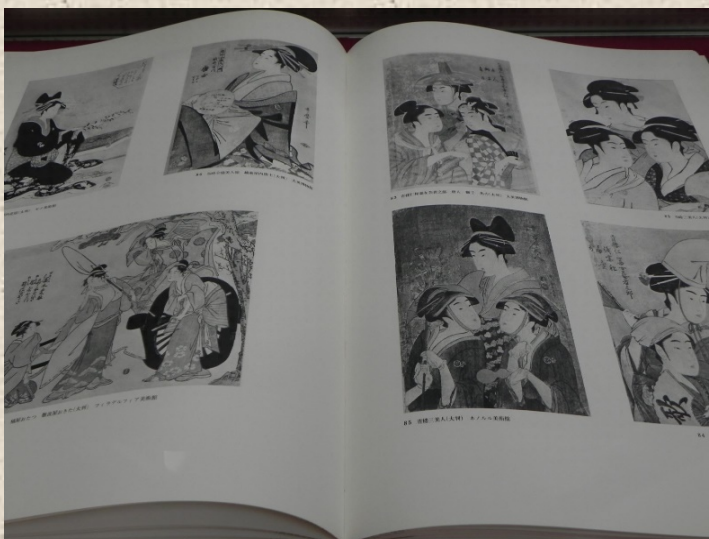
海鱧百珍

西

西子百珍

珍

甘藷百珍



開催場所:神戸学院大学有瀬図書館

本館2階 エントランス展示コーナー

開催期間:2021年12月1日(水)~2022年3月31日(水)

\* 開催時間や開催期間は変更になることがあります。図書館HP・掲示にて、ご確認のうえご来館ください。

第59回有瀬図書館ギャラリー展では、「百珍」と題して、約200年前に書かれた料理本『豆腐百珍』を展示しています。この本をきっかけに、「百珍物」と呼ばれるものが次々と出版され、流行を巻き起こしたと言われていています。江戸時代の料理書・浮世絵なども、ご一緒にお楽しみください。

## 展示の紹介



### 『料理百珍集』

●天明二年(1782)『豆腐百珍』・『豆華集』●天明三年(1783)『豆腐百珍続編』●天明五年(1785)『鯛百珍料理秘密箱』・『万宝料理秘密箱』(『玉子百珍』)・『柚珍秘密箱』●天明八年(1788)『豆腐百珍餘録』●寛政元年(1789)『甘藷百珍』●寛政七年(1795)『海鰻百珍』●弘化三年(1846)『蒟蒻百珍』

### 『豆腐百珍』

天明2年(1782)1冊の料理本が発行され、豆腐を素材にした100品の料理を紹介した料理本になります。日常のお惣菜「尋常品」から、料理屋風に凝った料理「絶品」まで6つのランクに格付けされた、料理方法が紹介されています。





## 『浮世絵』

浮世絵は、江戸時代に成立した絵画様式のひとつです。江戸時代の幕開けと共に歴史が始まり、その生活や流行などを、テーマにした絵画になります

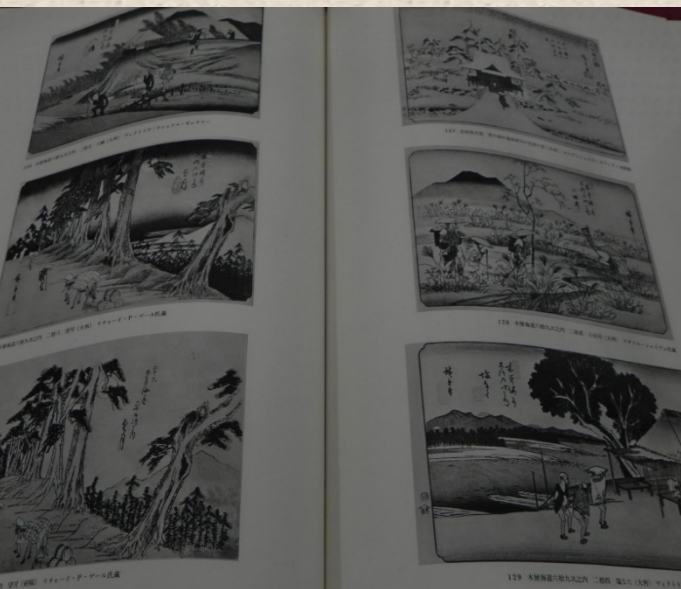
## 『喜多川 歌麿』

美人画の巨匠とも言われる喜多川 歌麿ですが、多くの浮世絵師と同じように、初期の頃には役者絵も手掛けていたとのこと。



## 『歌川 廣重』

はじめの頃は、美人画・武者絵・おもちゃ絵・役者絵や挿絵と幅広く活躍していましたが、あまり振るわなかったとの事です。後に、風景画を手掛け、風景画家として、地位を確立したそうです。



## 展示の様子



## 編集後記



今回のギャラリー展では、約200年前に書かれた江戸時代の料理本『豆腐百珍』・『甘藷百珍』『蒟蒻百珍』などの料理本に加え、江戸時代に流行った『浮世絵』なども併せて展示しております。ぜひこの機会に、江戸時代に思いを馳せながら、楽しんでご覧ください。

## 参考文献



- 豆腐百珍・福田浩訳 教育社, 1988
- 料理百珍集・原田信男 東京:八坂書房, 2009
- 浮世絵の歴史: カラー版 美術出版社, 1998
- 田辺昌子監修『浮世絵』新星出版社, 2011
- 日本大百科全書(ニッポニカ)

神戸学院大学図書館 展示会通信 MERIDIAN 第60号  
2021年12月6日発行  
発行・編集:神戸学院大学 有瀬図書館  
〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518  
Tel: 078(974)4584 E-mail: pub-lib@j.kobegakuin.ac.jp  
ホームページURL: <http://opac.kobegakuin.ac.jp/>